

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:1日2コマ×週4もしくは5

・科目名:VEEP(Vancouver English Experience Program)、EAP(English for Academic Purposes)

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	Free	Free	Free
13:00~14:45	○	○	○	○			

・科目名:GCE(Global Citizenship Through English)

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
13:30~15:45	○	○	○	○			

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

基本的に15人程度で、その中に多くて5人ほど日本人以外の方がいるクラスでした。プログラムによって国籍の割合が変わり、EAPというコースが特に日本人以外の方が多かったです。授業内容もプログラムによって異なり、グループワークを中心としてプレゼンテーションを行うものやreadingとwritingに特化したもの、speakingとlisteningに特化したものなどがありました。教科書やプリントを使って教室で学ぶことがほとんどでしたが、実際に博物館や美術館などに訪れて文化などを学ぶといった授業もありました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

Cultural Assistant(通称CA)と呼ばれるUBCの学生の方が企画するイベントに参加していました。ダウンタウンツアーやウィスラーへのデイトリップを通じて、地域への理解を深めることができました。また、international nightやハロウィンシーズンに行われるパンプキン・パッチなどのイベントで、地元の方や他の生徒と一緒に異文化を体験できたことが印象に残っています。仲良くなったクラスメイト達と食事に出かけるのも楽しみの一つで、台湾出身の友人と台湾料理のレストランに行き、台湾についてたくさん話を聞くことができたのが良い思い出です。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)  
ブックストアにはよく足を運んでいました。教科書など必要なものを購入したいときはもちろ

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

ん、大学のオリジナルグッズや季節に合わせた商品を定期的にチェックしていました。カナダの先住民に関連したものも販売されていて、それらについて考えるきっかけにもなりました。また教科書以外の本も数多く売られており、そこで目標の一つだったハリーポッターの英語版の本を購入して読むことができたのが嬉しかったです。

**[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。**

**部屋: 1部屋 1人で使用**

**様子:** ホストファミリーがとても親切で、たくさん交流してくれたことに感謝しています。両親と娘さんの3人家族で、みんなが家にいるときは一緒に夕食を食べたりボードゲームや映画鑑賞をしたりして楽しく過ごすことができました。同じホームステイ先の日本人の留学生とも積極的に英語で会話し、娘さんと3人でよく遊びました。ホストファミリーとの交流が一番会話の練習になったと感じています。特にホストマザーとは色々な話をしました。イラン出身の方で、イランとカナダの文化についてやおすすめのお店などたくさんのことを教えてもらうことができました。飼っている猫とも仲良くなり、本当の家のような居心地の良い生活を送ることができました。

**[6] 留学中に楽しかったこと、苦勞したことを教えてください。**

● **楽しかったこと:**

ホストファミリーやクラスメイト、地元の方などの人との交流が楽しかったです。留学中は多くの人と英語でコミュニケーションを取ることができ、大変だったこともあります。それも含めて本当に良い経験だったと感じています。国籍の違うクラスメイトはもちろん、カナダには様々なルーツを持った人々が集まっているため、地元の方と話すときも文化の違いについて学ぶことができました。友人との旅行もとても楽しかったです。ナイアガラの滝やノートルダム大聖堂など様々な場所に行くことができました。1月に行ったイエローナイフではかなりレベルの高い素晴らしいオーロラを見ることができ、一生忘れられない思い出になりました。

● **苦勞したこと:**

言語の面では、レストランなどに行ったときの店員さんとの会話が大変でした。先生やホストファミリーは私が英語を勉強中だと知っているので丁寧に話してくれるのですが、店員さんはネイティブスピーカーと接するのと同じように速いスピードで話すことが多かったため、それについていくのに苦勞しました。健康面では、慣れない土地での生活ということもあり、何度か体調を崩してしまいました。咳が出ていた時期は満足に授業を受けることができず、悔しい思いをしました。勉強については、プログラムによっては課題の量がかかり多く、エッセイのようなものを書いたり難しい長文を読んだりするのにかなりの時間を使いました。

**[7] 留学の成果について教えてください**

**1) 語学力の向上:**

日本ではあまり機会のない英語での会話に慣れたいというのが留学を決めたひとつの理由だっ

# 留学報告書

(HPに掲載します)

たのですが、それを達成することができたのではないかと感じています。具体的に言うと、会話で相手に素早くレスポンスできるようになりました。現地での生活を始めたばかりの時は、簡単な単語や構文であっても英語を話すのに考える時間が必要でした。しかしたくさんの方との会話を通じて、英語を話すという行為に慣れ、会話でよく使われるワードが身に付き、テンポよく会話ができるようになりました。また、授業ではネイティブの先生に文法を教わったり文章の添削をしていただいたりして、自然な表現や言い回しについて学ぶことができました。

## 2) 専門知識の向上:

カナダの文化について多くの学びを得ることができました。クリスマスやハロウィンなど日本でも有名なイベントの祝い方が異なっていて興味深かったです。それだけでなく、Remembrance DayやThe National Dayなどのカナダの歴史に関わる重要な祝日を体験することができました。授業やホストファミリーとの会話を通して、それらの日がカナダに住む人々にとってどれほど大切なものなのかを理解することができました。歴史について学び、理解を深めることは異文化交流において必要なことだと改めて感じました。

## 3) 自己成長など

元からプレゼンテーションなど人前で話すことに対する苦手意識はあまりなかったのですが、留学を通じて英語でも自信を持って話すことができるようになりました。英語を人前で話すときの恥ずかしさが払拭できたと思います。また、視野が広がったと感じています。自分の目で見えないものを見て、異なる文化・生活環境に身を置いて実際に生活し、机に向かって勉強するだけではわからないことをたくさん体験したことで、普段の自分とは違う別の視点から物事を考えられるようになったと思います。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学を希望するにあたり、語学面での不安が大きいのではないのでしょうか。私からのアドバイスは「日本でできる勉強は留学前にとことんやっておく方が絶対に良い」です。私は語彙が少なくそれが自分の弱点であるとわかっていたのですが、出発前に特に力を入れて対策などはしていませんでした。そのため単語の暗記に留学先での貴重な時間を長時間使うことになってしまいました。もちろん日々の勉強の中で単語や文法の学習は必須ですが、ある程度の基礎ができていれば留学先でしかできないこと（外国人の友達と遊ぶとかホストファミリーに色々質問してみるとか）により多くの時間を割くことができます。当たり前のことかもしれませんが、日本でできる単語や文法の勉強（とくに復習）は済ませてから留学に行き、現地ではさらに上のレベルの生の英語を吸収できるように時間を使えると留学がより有意義なものになると思います。

## [9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

海外派遣留学生  
留学報告書

(HPに掲載します)

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	17万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	25万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	70万円
現地からの奨学金がある場合	0円
お土産代や個人的な買い物	10万円
その他(ホームステイ滞在費)	84万円
留学に関する費用の総額	206万円

[10]ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！

大学のモニュメント



クラスメイトと先生



# 海外派遣留学生 留学報告書

(HPに掲載します)



## 学校 (CA 企画) のアクティビティ



## ハウスメイトと日本食をつくってホストファミリーに振舞いました



海外派遣留学生  
留学報告書  
(HPに掲載します)

イエローナイフ旅行



長期で一緒に行ったメンバー  
心強い仲間たちでした！

